

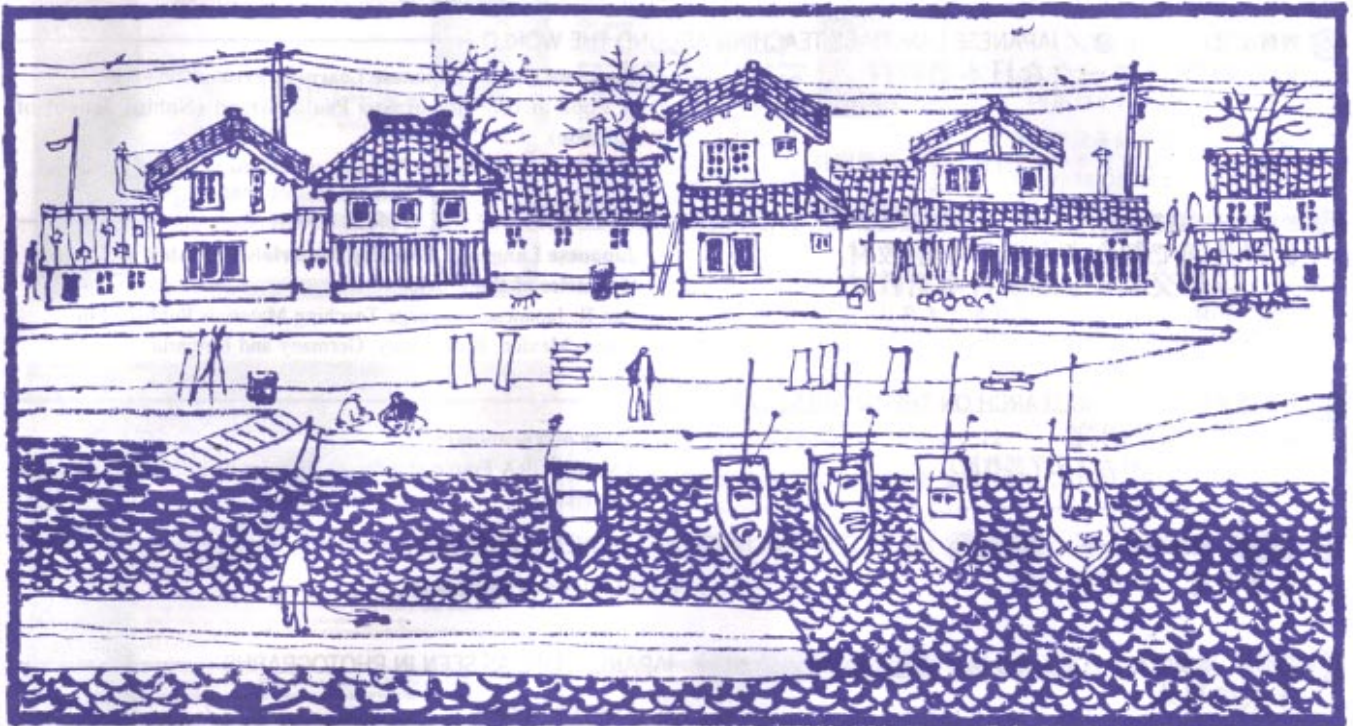
日本語教育通信

国際交流基金 | The Japan Foundation

行・編集 国際交流基金

日本語国際センター

集協力 国際文化交流推進協会



「漁村」

おなじだのに同じでない

漫画・まんが・マンガ 高畑 勲

日本製のアニメやマンガが、良きにつけ悪きにつけ、何かと海外で評判になっています。なぜ日本ではこんなにマンガやアニメが盛んなのでしょうか。

理由はいろいろと考えられますが、そのなかにひとつ、日本人自身もあまり意識していないことがあります。それは、日本でマンガやアニメのようなものが好まれたのは今にはじまったことではなく、ずっと昔からだった、という事実です。

たとえば、すでに12世紀の後半にはすばらしい絵巻物が生まれています。絵巻物というのは、横長の巻紙に言葉と絵を使って延々と描かれた絵物語の一種で、ここでお見せできないのが残念ですが、この巻物を少しずつ繰りひろげながら見ていくと、まるでアニメのように人物たちが生き生きと動き、物語が進んで行くのです。代表作の『信貴山縁起』は、人々の驚きあわてる前で小鉢が米倉を持ち上げ、空を飛び、倉の持ち主たちは馬に乗って必死にその倉を追いかけるシーンではじまりますが、こういう躍動的な場面が時間を追って次々と眼の前に展開し、さ

ながらSF映画を見ているような気分させられます。

以来、浮世絵や大人用の絵本が大量に出版された江戸時代まで、日本人々は、絵と言葉を使って、時間とともにお話をありありと物語るのが昔から大変得意でもあり、大好きでもあったのです。

では、なぜ文字の読める人たちが、こういったものを好んで作ったり見たりしたのでしょうか。その最大の原因は日本語という言語体系にあります。

古代の日本人は、先進国の中国から漢文と漢字を受け取りましたが、固有の「やまとことば」を捨て去ることなく、なんとか折り返合わせようと大変な工夫をしました。それが、日本語学習者を悩ませるに違いない二通りの仮名文字、漢字の音読みと訓読み、漢字仮名まじり文、振り仮名などの発明です。視覚記号と音声記号をいく通りにも重ね合わせて、意味やニュアンスの微妙な違いを視覚的に楽しむこの独特の習慣が、同じように、記号的な絵と言葉を組み合わせて何かを伝え物語る「マンガ的なもの」への好みを大いに発達させたのだと考えられるのです。

本来同じはずの漫画・まんが・マンガを使い分けたりするのも、視覚偏重の日本語ならではの個性がありません。

(アニメーション映画監督)

1 おなじだのに同じでない漫画・まんが・マンガ

高畑勲 (アニメーション映画監督)

"Manga, Manga, Manga" Written in Three Japanese Writing Systems

TAKAHATA Isao (Animation Director)

2 読者から / FROM OUR READERS

3 教育実践レポート7 / JAPANESE LANGUAGE TEACHING AROUND THE WORLD

のびのび ユニークな日本語教育
ブラジル・サンパウロ市内 日伯のびる学園

志村・宗・マルガレッチ (日伯のびる学園園長)

Easy and Unique Japanese Learning System

A Look at the City of Sao Paulo, Brazil (Nobiru School of Japanese)

Margareth So Shimura (Principal of Nobiru School of Japanese)

7 世界の日本語教材紹介 / JAPANESE LANGUAGE TEACHING MATERIALS AROUND THE WORLD

世界各国で制作された日本語教材
国際交流基金助成日本語教材後編 中国、メキシコ、ブラジル、イタリア、ドイツ、
ブルガリアの日本語教材

Japanese Language Teaching Materials Published in Various Countries of the World

Part II: Japanese Language Teaching Materials Published in China, Mexico, Brazil, Italy, Germany and Bulgaria

10 日本語を研究する / RESEARCH ON THE JAPANESE LANGUAGE

第7回 語彙研究

玉村文郎 (同志社大学文学部教授)

Study of Vocabulary

TAMAMURA Fumio (Professor, Faculty of Literature, Doshisha University)

12 初級 授業のヒント / Beginning HINTS FOR TEACHING THE JAPANESE LANGUAGE

なぞなぞ・クイズ(1)

Riddles and Quizzes (1)

14 初・中級 写真で見る日本人の生活 / Beginning and Intermediate JAPANESE LIFE AS SEEN IN PHOTOGRAPHS

年末の日本

Year-End Japan

16 本ばこ (新刊教材・図書紹介) / BOOKSHELF: INTRODUCTION OF NEW TITLES

20 特別報告 / SPECIAL REPORT

衛星放送を利用した日本語教育
国際交流基金日本研究部企画開発課

Japanese Language Education Using Satellite

Planning Div. Japanese Studies Dept. The Japan Foundation

22 『日本語教育通信』がホームページで見られます / ĀgNihongo-Kyōiku TsūshinĀhomepage is available

24 ニュース・編集部から / MISCELLANEOUS NEWSĀEFROM THE EDITORS

● マークは、読者が教えている生徒のレベルを示します。

● mark indicates the level of students whom readers are teaching.

〒 読者から 〒

1993年の日本語国際センターにおける研修以来、早くも3年半の月日が経ちましたが、その間、欠かさず『日本語教育通信』をお送り頂き、大変感謝しております。情報に富む内容をいつも興味深く拝読しております。

この2年来カレッジレベルでも教え始め、いままでより2歳ほど若い年齢層で、日本のアニメに精通している学生が多いのですが、私には最小限の知識しかなく、話相手になったり、ここを一つの突破口にして授業にフィードバックするということが出来ず、少々残念な気もいたします。

大学の方では、学生がインターネットを使い、日本人と交流するといったケースが増え、日本語学習はツール、実践面からも常に動いているという印象を受けます。

(カナダ モントリオール大学 マレット太田あけみ)

お元気でいらっしゃいますか。

私は林秀珍と申します。福建省福州市国際語言職業学校

で、日本語を教えています。

『日本語教育通信』を本当に楽しく読ませて頂いています。ありがとうございます。

私の学校は、高等1年と2年に日本語の授業があります。私は1995年に大学を卒業すると、すぐこの学校の日本語教師になりました。初めての授業のとき、どういう風にして教えたら楽しい授業ができるのか、よく分かりませんでした。特に文法は無味乾燥になりがちですし、私にはまるで経験がないのです。日本語の参考書も少ないのです。私はこれらの問題に悩みました。

そんな時、『日本語教育通信』が届きました。読むと、とても授業をする上で参考になることが書かれています。日本語についてのいろいろな情報も得ることができました。大変助かりました。

そのせいか、今ではだんだん日本語が教えやすくなっています。これから、もっともっと頑張りたいと思います。

(中国福建省福州市国際語言職業学校 林秀珍)

*お手紙は編集部で要約・編集して掲載しました。

のびのび ユニークな日本語教育

ブラジル・サンパウロ市内

日伯のびる学園

日伯のびる学園園長

志村・宗・マルガレッチ

Margareth So Shimura

このコーナーでは、特色ある日本語教育を実践している機関の教師の方々に、現場のコースデザインやコース運営の状況について、紹介していただきます。



1. はじめに

ブラジルでは1998年が日本移民90周年に当たり、各地で種々の催しが開催されている。日伯関係、出稼ぎ問題、日系人子弟の社会問題、老人問題と色々挙げられるが、その中でも日本語教育(その在り方と問題点)が大きな課題となっている。

ブラジルへの新規移住がなくなった現在、1世教師が減り、私たち2世、3世教師が4世、5世の児童に日本語を指導している。日本語教育は母国語教育ではなく外国語教育となり、様々な問題となっている。その問題点を当学園では考慮して解決を図っている。

2. 学園紹介

日伯のびる学園は11年前に開園し、現在に至る。サンパウロ市内のパライゾ区にある私塾である。公共施設や文教団体、PTAの援助などは一切受けていない。

生徒数は約150名で、現在男子67名、女子76名であり、非日系人が4名、ハーフが約20%、その他は日系人である。4歳児から成人クラスまでと年齢の差は大きい。教師数は常勤教師2名に助手が2名である。各クラスの生徒数は当初10名であったが、現在は15名である。

授業は週に3回(月・水・金と火・木・金の2コース)

であり、金曜日は情操教育として、作文、会話、書道や図画などを指導している。1回の授業は1時間半である。他に年間行事として4月に親睦運動会、そして12月に学園祭を行う。授業スタイルは複式授業である(写真1)。

3. 授業スタイルおよび内容

当学園では複式授業を行っているので単式授業とは全く違った授業スタイルである。複式授業では学習者が持つ日本語能力がまちまちである。日本語に対するバックグラウンドもそれぞれ違う。全く日本語が分からない学習者、日本語が理解できる学習者、日本語を家庭内で使用



写真1 授業スタイルは複式授業



する学習者など様々である。このような学習者を1クラスに入れ、日本語能力を向上させるのは容易なことではない。

学習者各自の進度がまちまちであるため、教師はその学習者のニーズに合わせた授業スタイルを生み出す必要がある。当学園ではこのような点を念頭に置き、学園なりの複式授業スタイルを作った。その授業スタイルは以下のとおりである。

まず、1クラスに10数人の生徒が入る。年齢はある程度まとめている。4歳から7歳までぐらいのクラス、8歳から11歳までぐらいのクラス、12歳以上のクラス、成人クラスに分かれる。

その他、月・水に1クラスと、火・木に1クラス、日本語能力だけでなく、年齢もまちまちのクラスがある。これは遠くに住んでいて、兄弟そろってしか来られないとか、学校の都合、英語塾の都合、水泳教室、パレーやピアノ教室等のため、どうしても学園側が指定した時間に来られない生徒を集めたクラスである。

授業内容は、幼児の場合、初めに文字を書く練習を10分間ぐらい行う。それからその日の連絡事項を連絡ノートに黒板から書き写す。その後、各自宿題を提出し教師がそれに目を通す。それから読み書き指導、会話指導などと授業を進めていく。

4. 教師の配置

日本語が理解できる生徒達には、日本語の方がよくできる1世教師が1名と助手が1名付く。1世教師は内容の説明などを行い、助手は読み方を聞いたり漢字テスト等を行う。

日本語の分からない生徒達には、2世あるいは3世の教師1名と助手が1名付く。教師は文法の説明などをポルトガル語で行い、助手は教師の指示に従い口頭練習などを行う。

複式授業の場合よく起こることであるが、一人の教師が二役も三役もやらなければならない。例えば、黒板で漢字テストを行いながら朗読を聞くとか、宿題を添削しながら口頭練習をやるとか、常に教師は学習者に気を配っている。教師はこのような授業スタイルに慣れなければならない。教師にとってそれは重労働であるが、複式授業では教師達は互いに足りないところを補いながら授業を進めていくことが必要である。

5. 使用教材

複式授業では学習者のニーズに合わせて指導を行わなければならないので、使用教材も様々なものを用いている。教科書、ハンドアウト、絵カード、コンピュータ、ビデオ、LL教材等である。

日本語が分かる生徒にはブラジルで作成された教科書より、日本の教科書の方が適している。当学園では、『新しい国語』（東京書籍）を使用している。生徒は日本の子供が使用している教科書をブラジルでも使用できることを誇りに思い喜んで学ぶ。また、日本の話題等も出ているので現代の日本の子供の世界を少しは知ることができ、日本語を教えるには効果的である。

日本語が分からない生徒は年齢によって使用教科書が違ふ。12歳までの児童には、日本の教科書と並行して学園作成のテキストを使用している。日常会話を主とした学園の児童のニーズに基づいて作成されたものである。絵が豊富に使用されているので児童は喜ぶ。日本語が分からない13歳以上の生徒には『初級日本語』（アリアンサ出版）と学園作成のハンドアウトを使用している。初級を終えて中級になると、日本の教科書と並行してハンドアウト等を使用している。

ひらがな、カタカナの導入段階では副教材として絵カードやコンピュータを使用している。語彙を定着させるためのコンピュータゲーム等も当学園で開発している。また、『Triple play plus : Japanese』（Syracuse language system staff）を使用している。マイクロホンを使い日常会話を行ったり、語彙や動詞、形容詞の定着もできるので学習者の間で大人気である。

また、会話の授業では小道具の箱を常備し、実際に場面を設定して会話指導を行っている。時折、現代の日本社会や日本人の生活をビデオ・テープを使って紹介している。このように色々な形の教材を使用し日本語を魅力的な言語にし学習者の興味を引き、日本語の指導を行っている。

6. 教授法

当学園では複式授業を行っているので学習者が教師の進度に合わせるのではなく、教師が学習者の進度に合わせなければならない。教師がダイナミックに授業を進めなければ学習者は興味を持たない。日本語を上手に、おもしろく、分かりやすく教えなければ学習者は喜んで学園に来ない。

複式授業という難しい環境の中で授業を進めていくには効果的な教授法が必要となる。当学園には4歳児から成人までいる。ここでは成人用の教授法ではなく、主に児童向けの教授法について説明する。

児童が学園に入園すると、まずひらがな指導を行う。数多くの語彙を教えながらひらがなを導入する。この段階では絵を豊富に使う(図1)。また、字を書かせるばかりではなく、コンピュータのひらがな定着ゲームも大いに使用している(写真2)。ひらがながマスターできた段階で生徒はもう既に150ぐらい語彙を身につけている。動物や果物、野菜、体の部位等は確実に身につけている。

ひらがなの導入が終わると、日本語が分かる生徒も分からない生徒も一様に日本の教科書を使用する。その目的はひらがなの運用能力を身につけることにある。また、簡単な文型を身につけることにある。日本語とポルトガル語の文の構文の違いを、幼い時から気づかせ身につけさせるために生徒の教科書には各文の語彙の番号を打ち、その番号にしたがって文をポルトガル語に訳させる。初めは両国の文の構成が全く違うので学習者は戸惑うが、徐々に慣れていく。その課の内容をはっきり理解しなければ次の課に進むことはできない。

日本語がある程度分かる生徒はそのまま日本語の教科書で学習を続ける。日本語の分からない生徒は、語彙がある程度そろい、日本語のリズムやイントネーションまたは文の構造に慣れた段階でカタカナを導入する。カタカナもひらがなと同様に絵カードやコンピュータを使用しながら導入する。カタカナを教える場合、アソシエーションメソッド(連想法)を使用している(図2)。

カタカナの導入を終えると、当学園で作成されたテキストを使用する。そのテキストは日常会話を主としたテ

図1 ひらがなの教材

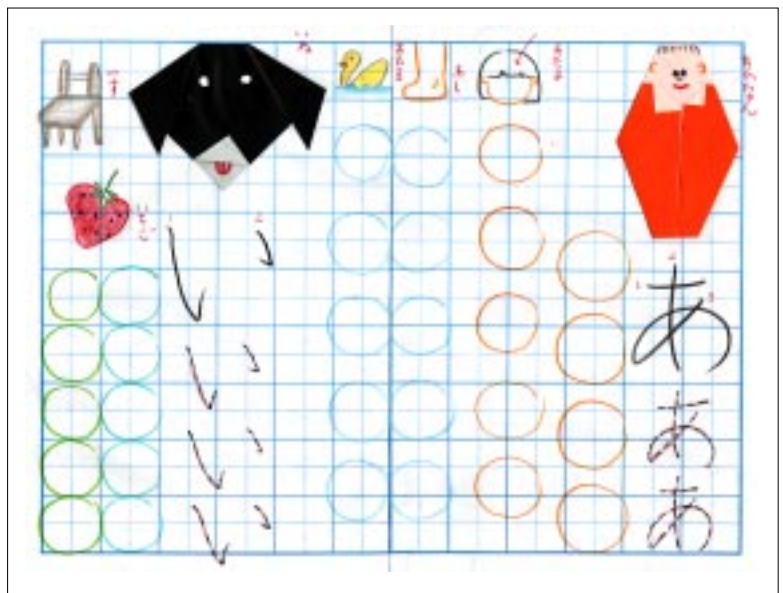
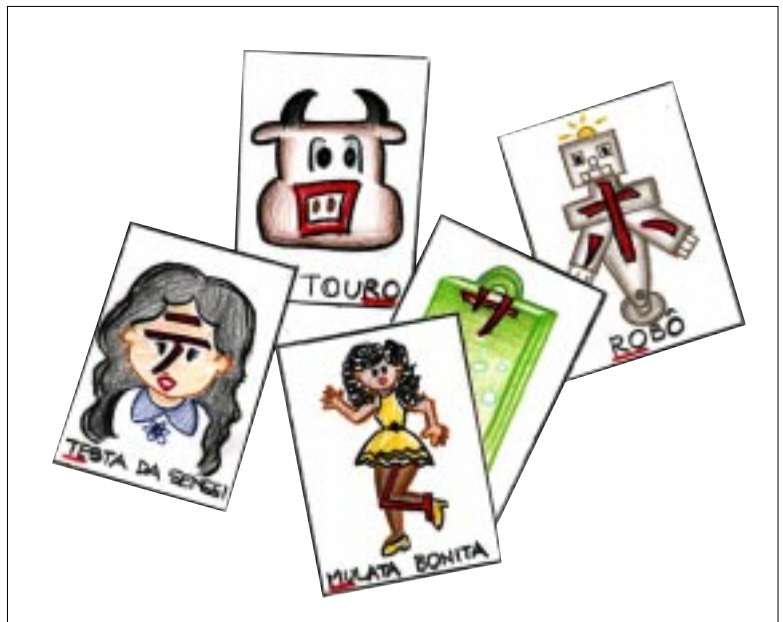


図2 連想法を使用したカタカナの教材



キストである。ドリル(練習)等が豊富にある。12、13歳の生徒になると文法的な説明がよく分かるようになっていたので、『初級日本語』(アリアンサ出版)を使用して、ポルトガル語と日本語の文法を比較しながら文型をどんどん生徒に教えていく。生徒はこの段階では日常会話はでき、作文などが日本語でどんどん書けるようになっていく。

当学園では教師が学習者をまずよく見つめてから教授法を選ぶ。ある学習者にとっては最高だった教授法が、他の学習者にはあまりよくない場合もある。そのような場合には、また新しい教授法を生み出さなければならない場合もある。そのため型にはまった教授法はない。入園する学習者によって教授法は常に変化している。教師は常に新しい教授法を生み出さなければならない。

7. 教育効果

学習者一人ひとりの速度や能力に合わせて指導しているので、教えたことは確実に身につけている。会話は少々劣るが、日本語を理解し文を構成することは十分できている。学習者は自己のペースで学習できるので気軽に学園に来る。単式授業では見られない教師対学習者のインターアクションが、複式授業ではできる。そこで、教師と学習者との関係が濃密になる。

また、日本語力のある生徒と全くない生徒が同じクラスにいるため、分かる生徒が分からない生徒に教えたりする。日本語力がない生徒同士でも、先に入園した生徒が新入生に自分が学習したことを教えたりしている光景も見られる。このように生徒同士の輪もうまく保たれている。

また、面白い教育効果を上げているのが副教材として生徒達に自由に使用させているコンピュータひらがな・カタカナ・語彙定着ゲームとビデオゲームである。コンピュータゲームは4、5歳児から使用している。カタカナを学習していないのにコンピュータで遊びながらカタカナをマスターしてしまう5、6歳児もいる。

また、ビデオゲームは、日本語の学習とは直接関連していないが、生徒に学習意欲を持たせるのには最高である(写真3)。よく勉強ができた生徒やその日の目標を達成した生徒は、授業が終わる10分ぐらい前にゲームで遊んでもいいと許しを出す。生徒は遊びたいので一生懸命勉強に励む。

子供は自分から進んでなかなか学習しないので、教師または学園側が学習意欲を出させるように仕向けなければならない。学園では学習意欲を持たせる一つの手段としてインターネットを4年前から使用している。Eメールで宿題を送ったり学習者とのコミュニケーションを取っている。

このように色々な手段を使用しながら学習意欲を向上させている。

8. 問題点

作文力や理解度に対して会話が劣っている。それは日本語を使用する場所や機会がないからである。学園で週に3時間学習しても十分な会話はつかない。

次の問題点はアメリカンスクールに通っている日系人で英語でしか話せない学習者である。この学習者には日本語を英語の文法と比較しながら英語で説明しなければ



写真3 ビデオゲームで学習意欲を持たせる

ならない。ブラジルの日本語教師はポルトガル語だけでなく、英語力も十分につけなければならない。そういう時代になりつつある。

9. 今後の課題・展望

ブラジルの日本語教育は今後ますます厳しくなることが予想される。英語塾やフランス語塾、ドイツ語塾に劣らないように常に新しい教授法や教材を生み出さなければならない。また、時代に沿った新しい機材等もどんどん取り入れ、日本語教師は時代に遅れないように常に研究や研修をする必要がある。

21世紀はすぐそこまで来ている。国際化時代に育つ若者にとって数多くの言語を学ぶということは非常に大切なことである。社会人になり国際人になるにつれて言語は欠かすことのできない大切な要素となる。

このような若者達に言語を教えている私達日本語教師の責任は重い。今後の課題として慎重に今まで通り研究や研修を積み重ねながら頑張っていきたいと思う。そして、教師としていつまでもいつまでも教える喜びを感じたい。また、学習者達には覚える喜びを与え続けたい。

のびる学園スタッフ

志村・宗・マルガレッチ (園長)
Margareth So Shimura

宗・花子 (顧問・教頭)
Hanako So

宗・智子・デアナ (成人の部教師。コンピュータ教材作成)
Deana Tomoko So

伊藤・美香・クリスチナ (助手)
Cristina Mika Ito

世界の 日本語教材

世界各国で制作された日本語教材

国際交流基金助成日本語教材

紹介

後編

中国、メキシコ、ブラジル、イタリア、 ドイツ、ブルガリアの日本語教材

データ凡例

- 1 著者・編者
- 2 発行元
- 3 使用言語
- 4 定価

最近、世界各国の各機関でそれぞれの目的に合った日本語教育用教材が制作されるようになってきました。しかし、世界各国で制作された教材の情報は、日本で刊行された教材の情報に比べて入手することが難しいのが現状です。

そこで、前回に引き続き、国際交流基金の平成8年度（1996年度）「日本語教材制作助成プログラム」の助成を得て刊行された海外各国の日本語教材を紹介いたします。

この機会に多くの方に世界各国で刊行された教材について知っていただきたいと思います。

教科書

中国

新編初級日語（上・下）



- 1 谷 学 濂 谷 学 謙 李 永 夏
- 2 吉林教育出版社（中国长春市斯大林大街110号 / TEL:+86-431-5682320）
- 3 日本語、中国語 4 上・下で 39 元

大学における初級段階の日本語教材並びに社会人向けの日本語独学教材として使用することを目的としている。

東京外国語大学日本語教育センターの『初級日本語』、『初級日本語会話』、『初級日本語練習』などをまとめ、中国人の日本語学習のための音声、文法等の解説を中国語で加えている。

教科書

ブラジル

新日本語初級 I (Novo Curso Básico de Japonês I)



- 1 小久保ネイダ
- 2 Aliança Cultural Brasil-Japão (Rua Vergueiro 727 / 1 São Paulo, Brasil CEP 01504-001 / TEL:+55-11-279-6630 FAX:+55-11-277-1145)
- 3 日本語、ポルトガル語 R\$14.00

義務教育を修了したブラジル人を対象とした日本語教科書。内容は、文型・文法説明・語彙・漢字・漢字ドリル・読解・会話。

文型や例文だけでなく、「場面」を設定し、「話題」を展開させ、会話にも利用できる。ポルトガル語による文型・文法説明は、広く役立つ。

教科書

きょう か しよ

イタリア

初めて学ぶ 日本とその文化の歴史

はじ まな にほん ぶんか れきし

(Japan and her culture : Historical outline)
(Il Giappone e la sua Civiltà : Profilo Storico)



1 竹下利明

たけしたとしあき

2 Cooperativa Libreria Universitaria Editrice Bologna

(Via Marsala, 24, 40126 Bologna, Italy / TEL:+39-51-220736 / 224780 FAX:+39-51-237758)

3 イタリア語 4Lit.34,000

初級日本語教育と日本学の一体化のための教材であり、「内容」優先の日本語教育を初級レベルから行なうもの。

イタリア語で書かれた日本文化史のマニュアルとしても利用可能。

翻訳のための教科書(科学技術)

ほんやく きょう か しよ ががくぎじゆつ

中国

科学技術日本語の翻訳(科技日语翻译)

かがくぎじゆつにほんごほんやく



1 郭 殿福

2 哈尔滨(ハルピン) 工程大学出版社 (Zip code: 150001 中国黒竜省 哈尔滨(ハルピン)市文廟街11号楼 / TEL:+86-451-2519665)

3 日本語、中国語 4RMB11.50

日本の先端科学技術を導入するに当たって、各種資料の翻訳技術者を養成することを目的としたテキスト。

基本的な翻訳の理論と、21課からなる実践及び付録から構成される。

翻訳のための教科書(経済)

ほんやく きょう か しよ けいざい

中国

实用漢日経済翻訳教程(实用汉日经济翻译教程)

じつようかんにちけいざいほんやくきょうてい



1 陳 岩

2 北京大学出版社(北京市北京大学構内 /

TEL:+86-10-2752028 FAX:+86-10-2556201)

3 日本語、中国語 428 元

実務で必要とされる経済活動に関する翻訳を取り上げたテキスト。

中日経済協力や交流で常用される各種の文書を材料としている。

経済活動の内容に基づいて10章に分かれている。基本用語例、翻訳練習問題等が盛り込まれている。

読解教材
どっかいきょうざい

メキシコ

日本あれこれ
にほん
(Facetas de Japon)



1 松井賢治
まついけんじ

2 Instituto Cultural Mexicano Japonés, A.C.

(Mártires Irlandeses 62-B, Col. Parque San Andrés,
Coyoacán, México, D.F. C.P.04040 México /
TEL:+52-5-544-2989 FAX:+52-5-549-7985)

3 日本語、スペイン語

4 N\$100.00 (1,500) [かつこ内は自国外定価]

構成は以下の通り。

第一部：日本文化を分かりやすく紹介。日本の気
候、歴史、漢字文化等について取り上げている。

第二部：現代の日本の生活で必要とされる情報を
紹介。日本で生活を始める人を対象に、交通手段や
食生活について解説している。

文法書
ぶんぽうしょ

ブルガリア

日本語文法
にほんごぶんぽう
(Japanese Grammar)
(Yaponska Gramatika)



1 Bratislav Ionchev, Ivanov

2 ET "GAMA" (Bulgaria, 1415 Sofia Dragalevtsi,
Vilna Zona, Str. 207 No 4 / TEL:+359-2-
672763)

3 ブルガリア語 4350LEVA

本書は日本語の文法に関する基礎知識を解説して
いる。

構成は以下の通り。

第1章：日本語の発音に関する説明

第2章：日本語の品詞に関する説明

第3章：日本語の構文に関する説明

辞書
じしょ

ドイツ

青少年のための基本日本語辞典
せいしょうねん きほんにほんごじてん
(Basic Japanese Vocabulary for young people)
(Grundwortschatz Japanisch für junge Leute)

【例】
れい



1 Kay, Genenz ほか

2 Universität Hamburg Seminar Für Sprache und
Kultur Japans (Universität Hamburg Von-Melle-
Park 6, 20146 Hamburg, Germany / TEL:+49-40-
4123-2670 FAX:+49-40-4123-4884)

3 日本語、ドイツ語 4DM59.00

約 2,200 語の例解基本語彙辞典。

左の【例】のように基本語彙を解説。

また以下の付録がある。単語の分類表、基本
文法の説明、助詞・数字等の表、文法項目の索
引等。

* このページで紹介されている教材に関する問い合わせは、データ中の発行元に直接おたずね下さい。

語彙研究

ミミ日本語の単語の諸性質と語彙の教育ミミ

同志社大学文学部教授

玉村 文郎

1. 語彙の本質

単語 (words) とその集まりである 語彙 (vocabulary) について研究するのが語彙論です。語彙は、音韻・文法 (形態・構文)・文字などと並んで、言語の構造を形づくっています。言語構造の諸分野の中で、語彙がそなえている最も著しい性質は、語彙の成分である単語が、どの言語でも数えられないほど多いという事実です。この語数の多さは、次のような性質とつながっています。

- 1 多くの語は言いかえができる
- 2 語は増える性質がある
- 3 語は増やすことができる
- 4 成人話者すべてが知っている語とそうでない語とがある
- 5 語の使用率や使用範囲には差がある
- 6 語には意味の一致・不一致や用法・語感の差がある
- 7 語の造り方・増やし方には一定の方式がある
- 8 日本語の単語には出自別 (語種) の違いがあり、それが語感・位相・表記などと深く結びついている
- 9 だれもが知っていて、よく使う語は、基本的なもので、値うちがある
- 10 異言語間 (同一言語内の地方語間) には、ふつう意味・語感の差があるので、注意する必要があるなどです。これらは相互に関連しています。以上のうち、重要なものについて考えましょう。

2. 語の成り立ちと意味

「花見」という語は、「花」と「見る」からできていて、「桜の花を見て楽しむこと」を意味します。「高さ」という語は「高い」の語幹と接尾辞「さ」でできていて「高い程度」を意味します。「花見」「聞き落とす」などは、独立の語と語の結合なので 複合語 と呼ばれます。「高さ」「春めく」「おしろい」などは、独立の語の前後に接頭辞か接尾辞がついたものなので 派生語 と呼ばれます。語の

成り立ちでは、この2種が代表格ですが、日本語には「人びと」「高だか」のような重複形 (畳語) が多いのが特色です。擬音語 (ざわざわ)・擬態語 (ぺこぺこ) が多いことも日本語語彙の特色とされますが、これに畳語が多いというのも興味深いことです。

「牛肉の入っているうどん」はふつう「肉うどん」と言います。しかし「きつねうどん」はキツネの肉が入っているうどんではありません。外国の人が勘違いをして目を丸くすることがあります。この場合の「きつね」はキツネの好物である油揚げのことです。語の構成が似ていても、意味上の構造が全く違うものがあるので、注意が必要です。「雨降り」も「さるすべり」も主語プラス述語で成り立っている複合語です。しかし、後者は「サルが遊ぶ滑り台」ではなく、植物の一種です。日本人の見立て・連想が働いて生まれた語です。こういう例を数多く集めて考えると、いろいろな面白いことが分かってきます。

しかし、基本は、比喩や連想の働いていない、又省略などのない「花見」「肉うどん」「雨降り」「聞き落とす」の類で、初級・中級で教える語もこの類に限るべきであり、語の成り立ちについて教える際も、分かりやすい基本タイプを主にすべきでしょう。

3. 単語の数

現行の小型の国語辞典の見出し語の数は、大体6～7万語ですが、日本人の成人が理解できる語は5万語ぐらいと考えられます。英日とか日中とかの対訳辞典は1～3万の見出し語のものがふつうです。表に示したように、日本人は多くの語を使う傾向があるようです。

表は語彙調査に基づいて、使用率順に並べられた語のうち、上位1,000語から5,000語までの語が各層ごとに、一般的な文章・放送の中の異なり語数の何パーセントを占めるかを表したもので、表中の数値をカバー率と呼びます (調査主体・言語構造が異なるため、数値は絶対視でき



表 語数とカバー率

| 語数 (1語) | 英語 | フランス語 | スペイン語 | ドイツ語 | ロシア語 | 中国語 | 朝鮮語 | 日本語 |
|------------|-------|-------|-------|----------------|-------|-------|-------|-------------------|
| 1~500 | | | | 51.2 62.83 | 57.5 | 63.1 | 66.4 | 51.5 |
| 1~1,000 | 80.5 | 83.5 | 81.0 | 1,022 69.20 | 67.46 | 73.0 | 73.9 | 60.5 |
| 1~2,000 | 86.6 | 89.4 | 86.6 | 2,017 75.52 | 80.00 | 82.2 | 81.2 | 70.0 |
| 1~3,000 | 90.0 | 92.8 | 89.5 | 3,295 80.00 | 85.00 | 86.8 | 85.0 | 75.3 |
| 1~4,000 | 92.2 | 94.7 | 91.3 | | 87.5 | 89.7 | 87.5 | 1~3,500 (77.3) |
| 1~5,000 | 93.5 | 96.0 | 92.5 | 4,691 83.13 | 92.0 | 91.7 | 89.3 | 81.7 |
| 計 | 93.5% | 96.0% | 92.5% | | 92.0% | 91.7% | 89.3% | 81.7% |

玉村文郎 (1989) 『日本語の語彙・意味』a アルク

ませんが、大筋の傾向として理解するのは差し支えないでしょう。表中の数値は日本語がカバー率の低い言語であることを物語っています。日本語の単語の多くが、具体的なものや個物を指す方面に多く分布しているからだと考えられます。このような個物志向・特定場面志向は「お方 方 お人 人 人物 人間 者」のような名詞、やりもらいの7動詞、「ころり ころん ころころ ころっ…」などの擬態語の使い分けに現れています。個々の場面・関係・状況に密着した表現を好む日本人の表現態度が見られます。抽象度の高い表現を選ぶフランス語と好対照になるのもうなずけるところです。「日本語能力試験」の1級の認定基準に「語彙(10,000語程度)を習得し」とあるのは、日本語の実態に即しているわけです。

教育的には、統計に基づいて作成された教育基本語彙などを活用することが効果的でしょう。

4. 語の形

「パイヤ」という果物があります。この名を聞いた日本人は、即座に日本の果物ではないと判断します。固有の日本語の単語(和語)には音素Pが語頭に現れることが極端に少ないのに、さらにPが後続するため、擬音語・擬態語・俗語でなければ、和語ではないと直覚できます。和語には、

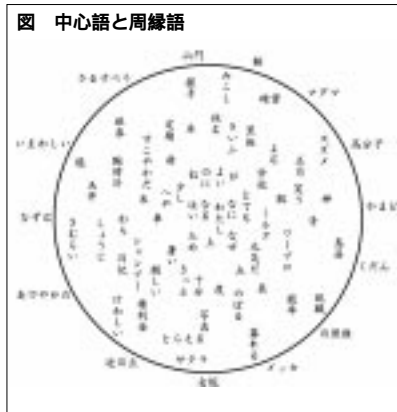
- (1)語頭に撥音「ん」が現れない
- (2)語頭に濁音・半濁音P・ラ行音が現れることが少ない。それらの連続はたいへん稀である
- (3)エ段の連続は少ないなどの特徴があります。

現代日本語の和語名詞としては、2拍で「かり」(雁・狩りなど) 3拍で「かかり」(掛かり・係り)が最も日本語らしい語形となります。4拍の和語副詞には、A B C D の型になるものがかなりあります。第3拍のBの子音は、第2拍が促音(ッ)か撥音(ン)かによって変わります。どんな関係になるか、考えてみて下さい。

5. 語彙の教育

人間は獲得したすべての語を同率に使っているわけはありません。仕事や好みによって外来語をよく使う人、新語をきらう人など、まちまちです。しかし、大量の言語資料を計量的に分析してみると、個人の使用や立場を越えた、その言語全体の姿が見えてきます。最もよく使われる語の代表を中心に並べて、その周りに順に使用率の低い語の代表を並べてみましょう。

円の中心部に書かれている語は、いわば初級用の最も基本的なグループです。中心から遠い位置にある語ほど、学習段階が進んだ場合の教授語彙です。円周外の語は上級またはそれ以上の特殊専門語の代表と言えるでしょう。



教授者は、同時に教えるべき語のセットについて熟知していなければなりません。「父」「母」「春」「夏」「秋」「冬」「病気」「熱」「薬」「病院」「お医者さん」などです。これらは共起語の一部でもあります。また、中級以上では、「とうとう」と「やっと」、「から」と「ので」など、語の意味・用法について正しい知識を与える必要が出てきます。

語の意味については、素性(features)に分けて考える方法や共起語(いっしょに使われる語)に着目して分析する方法などがあります。さらに反義・類義などの関係や意味変化のタイプに関する知識も、研究・教育にとっては欠かせない重要なものです。

語彙の研究は、身近な事項に關していますから、だれにも手がけやすいものです。積極的に取り組まれることを期待します。

参考文献

国立国語研究所 (1984) 『日本語教育のための基本語彙調査』秀英出版
 国立国語研究所 (1984) 『分類語彙表』秀英出版
 国立国語研究所 (1984・85) 『語彙の研究と教育』(上・下)大蔵省印刷局
 玉村文郎編 (1989・90) 『日本語の語彙・意味』(上・下)明治書院
 金田一春彦他編 (1978) 『学研国語大辞典』学習研究社
 宮島達夫 (1994) 『語彙論研究』むぎ書房
 森田良行 (1996) 『意味分析の方法』ひつじ書房

☆授業のヒント

今回と次回は、日本語のクラスの中で使える
なぞなぞやクイズを紹介しつづけます。

テーマ なぞなぞ・クイズ (1)

| |
|---|
| 目的・教えること もくてき おし |
| 連体修飾 (~するもの) いろいろな文型 れんたいしゅうしやく ぶんげい (「 ~ても」、「 ~すれば ~するほど」など) |
| 学習者のタイプ がくしゅうしゃ |
| 初級後半以上 しよきこうはん いじじょう |
| クラスの人数 にんずう |
| 何人でも なんにん |
| 準備するもの じゆんび |
| 特になし とく |

「なぞなぞ」とは、「クイズ」とは？

「クイズ」とは、質問を出して、相手に答えさせる遊びのこと、「なぞなぞ」とは、クイズの形をしている、伝統的な日本のことば遊びです。

「なぞなぞ・クイズ」は、なぜいいか

日本語の学習になぞなぞやクイズが役に立つ理由として、次のようなことが言えるでしょう。

- ・日本語で短い文を聞いたり、読んだりして、内容を考えることができる。
- ・意外な答えやおもしろい答えが出てきて、楽しい。
- ・時間がたくさんあるときでも、少ししかないときでもできる。
- ・簡単に準備できる。
- ・なぞなぞは、いつもとちがう見方や考え方を練習になる。
- ・学習者どうしが、なぜそう考えるかを話し合うきっかけになる。

そのほかにも、いい点があるかもしれません。みなさんも考えてみてください。

「なぞなぞ・クイズ」をいつ、どのように使うか

なぞなぞやクイズは、次のようなときに使うことができます。

- ・授業の前のウォーミング・アップ
- ・授業の最後に時間が少しあまったとき
- ・日本語を勉強しているほかのクラスやほかの学校、日本人との交流のときに
- ・クラスの中やほかの学校とクイズ大会を開く

なぞなぞやクイズは、いろいろな使い方ができます。

- ・口頭で問題を言ってもいいし、紙や黒板に文字で書いてもいいです。
- ・個人でもグループでもできます。
- ・いくつかの答えの中から正しいと思うものを選ぶようにするとやさしくなります。

なぞなぞを使った教室活動の会話の例として、次のようなものが考えられるでしょう。

先生：とってもとっても減らないものは何ですか。
 学習者1：お金ですか。
 先生：いいえ、ちがいます。
 学習者2：先生、それは写真です。
 先生：はい、そうです。よくできました。ほかにもありますね。
 学習者3：すもうです。
 先生：そうです。「写真をとる」、「すもうをとる」と言いますが、何かがなくなったり、少なくなったりするわけではありません。

今回は、次のような2種類のなぞなぞを紹介しつづけます。

A) 一般的ななぞなぞ

同じようなものが日本以外の国にもあるでしょう。

- 1) 立っているときには近くであって、すわっているときには遠くにあるものは、何ですか。

s 答え.....てんじょう

[解説：すわると体全体の高さは低くなりますが、てんじょうは遠くなりますね。]

2) 入口が一つで、出口が二つあるものは、何ですか。

s 答え.....ズボン

[解説：足を入れるところは一つですが足を出すところは二つあります。]

3) 足が4本あっても走れないものは、何ですか。

s 答え.....つくえ

[解説：いすやテーブルも足が4本あります。]

4) 何も食べないのに、太ったりやせたりするものは、何ですか。

s 答え.....月

[解説：一番丸くて太っている形を満月といいます。]

5) きれいにすればするほど小さくなるものは、何ですか。

s 答え.....せっけん

[解説：せっけんで手や体を洗うとせっけんはとけて小さくなります。]

B) 日本語独特のなぞなぞ

ほかの外国語に翻訳すると意味がなくなります。同じことばでも違う意味や使い方があったり、ことばの一部が似ていることからおもしろい問題が多いです。

1) よんでもよんでも返事をしないものは、何ですか。

s 答え.....本

[解説：本を呼んでも、本は返事をしません。「読む」と「呼ぶ」の「てform」はどちらも「よんで」になります。「よんで」(読む)、「よんで」(呼ぶ)とアクセントはちがいますが、なぞなぞでは無視します。]

2) パンはパンでも食べられないパンは、何ですか。

みなさんの国のなぞなぞや、みなさんやみなさんの学習者が考えたクイズやなぞなぞを私たちに教えてください。次回は漢字のなぞなぞと、日本事情のクイズを紹介します。どうぞお楽しみに。

このコーナーの担当者：北村武士、八田直美(日本語国際センター専任講師)

A - 1)



A - 2)



B - 1)



B - 2)



s 答え.....フライパン

[解説：フライパンは料理するときに使うものです。ことばの中に「パン」がありますが食べられません。]

3) 前から読んでも後ろから読んでも同じ野菜は、何ですか。

s 答え.....トマト

[解説：このほかに前から読んでも後ろから読んでも同じ言葉は、「やおや」(店)、「こねこ」(動物)などがあります。]

4) 「アップル」は何語ですか。

s 答え.....りんご

[解説：「アップル (apple)」という単語はもともと英語です。しかし意味の「りんご」も「ご」がつくことばなので答えは「りんご」です。]

参考文献

監修：藤子・F・不二雄 作・構成：ヨシダ忠 (1988)

『ドラえもののなぞなぞポケット』小学館

監修：藤子・F・不二雄 作・構成：ヨシダ忠 (1989)

『ドラえもののなぞなぞ学校』小学館

本間正夫 (1996) 『なぞなぞクイズ百科』西東社





写真で見る
日本人の生活

「年末の日本」

ねん まつ に ほん

このコーナーでは、国際交流基金日本語国際センターが発行している、日本語教育用「写真パネルバンク」シリーズを使って、初等中等教育機関で日本語を教える先生方が、どのように日本人の生活を紹介できるかを提案していきます。また、文型、単語、漢字は初級の学習者でも読めるようにやさしいものを選びました。今回は、年末に日本人がどんなことをするかを紹介します。

おせいぼ



日本では、12月に、ふだんお世話になっている人にお礼の気持ちとして、「おせいぼ」というプレゼントをおくりします。

11月の終わりから、デパートで、おせいぼの売り出しが始まります。おくるものと、おくり先を決めるとデパートがとどけてくれます。

おせいぼの予算は1つにつき3000円から5000円くらいです。品物はよく使われ、長持ちする食べ物や飲み物が多いです。

おせいぼで一番人気なのは、ウイスキーやビールなどのお酒やクッキーなどのおかしです。料理をするときに使う調味料も人気があります。

お歳暮に贈られるものベスト5の品物と予算

| | 1987年 | | 1996年 |
|----|----------------------|--|---------------------|
| | ねん | | ねん |
| 1位 | 国産ウイスキー 5,000 (円) | | 洋菓子セット 3,000 (円) |
| 2位 | 洋菓子セット 3,000 | | のり 3,000 |
| 3位 | サラダ油 3,000 | | ビール 3,000 |
| 4位 | 調味料 3,000 | | のり 5,000 |
| 5位 | のり 3,000 | | サラダ油 3,000 |

(三越の日本橋、銀座、新宿、池袋、横浜5店の総売上数量)
日鉄ヒューマンデベロップメント / 日本外国語専門学校 『日本を話そう 15のテーマで学ぶ日本事情 <第2版>』(ジャパントイムズ)より



大そうじ

12月には、多くの家庭で1年に1回とくべつなそうじをします。このそうじを「大そうじ」とよびます。

大そうじのときは、ふつうはそうじしない所もきれいになります。これには、家をきれいにし、お正月をむかえる、という意味があります。

学校や会社でも、大そうじをすることが多いです。



クリスマス

日本では、クリスマスは年中行事のひとつとして考えられています。

特に、小さい子供のいる家庭では、クリスマスをいいうことが多いです。クリスマスツリーをかざったり、ローストチキンやクリスマスケーキを食べたりします。

子供たちは、クリスマスプレゼントをもらうことを、とても楽しみにしています。



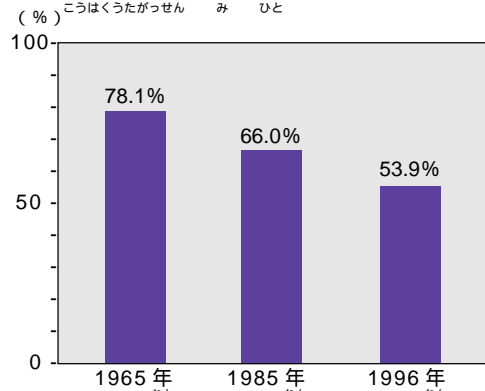
紅白歌合戦

12月31日は「大みそか」で、さまざまな行事があります。大みそかの夜、NHK（日本放送協会）では「紅白歌合戦」があります。

「紅白歌合戦」は、その年に人気があった歌手が男性のチーム（白組）と女性のチーム（紅組）にわかれて歌います。

「紅白歌合戦」はとても人気があるプログラムで、歌手にとって、出場することは、大きなよこびです。

紅白歌合戦を見た人のパーセント



(ビデオ・リサーチ社関東地区調べ より作成)

1960年代には10人中8人の日本人が紅白歌合戦を見ていました。今は、2人に1人ぐらいです。最近の若者は、家族とテレビを見るよりも、アルバイトや友達とスキーなどをして年末を過ごしています。

このコーナーの担当者：荒川洋平、小玉安恵（日本語国際センター専任講師）



「日本語の教材や図書に関する新しい情報がほしい」という海外の先生方の声をよく聞きます。このコーナーでは、最近出版された日本語教材や参考書を中心に紹介していきます。紙面の制約上、一回に多くの本を紹介できませんが、「海外の先生にとって使いやすい教材」「授業や研究の役に立つ本」、また、「知っているると便利な図書・資料」などを取り上げます。

データ凡例 1 著者 2 出版社 3 刊行年月 4 ISBN 5 ページ数 6 定価 (税込) 7 その他

“上級学習者のための4技能統合型日本語・日本事情教材”

『日本語・日本事情リソース型総合教材 過渡期の「日本」を考える』

データ

1 三牧陽子、村岡貴子、伊藤博子 2 凡人社 (〒102 東京都千代田区平河町1-3-13 菱進平河町ビル1F / TEL:03-3263-3959 FAX:03-3470-2129) 3 1997年5月30日 4 89358-375-15 5 本文73ページ リソースブック72ページ 6 2,100円

どんな学習者のための教材か

日本語のレベルが上級以上の学習者を対象に作成された教材です。大学の講義・ゼミ・研究会などで、話を聞き、資料を読み、討議し、発表ができるようになることを目標としています。

どんな内容・構成か

本編と資料編(「リソースブック」)の二部構成になっています。本編は1課から10課まであります。ひとつの課は、「重要語句」「準備の窓」「本文」「読解の窓」「語彙・表現の窓」「会話の窓」「作文の窓」という順に構成されています。

10課分のテーマは、「日本人の『働き方』」「若者の選択」「家族とは」「日本人の意識」「揺れる日本語」「『食』事情」「人間都市」「国際社会における日本」「真の豊かさ」「共生を求めて」です。

リソースブックにはテーマに対応した3~6点の文章、資料、統計が載っています。

ます。文章・資料は、論説文、説明文、体験談、対談記事、随筆などで、文章の多様なスタイルを学ぶことができます。

海外でどのように使うか

本書はテーマ中心のモジュール型かつ4技能統合型教材なので、いろいろな使い方ができます(ただし、本書には語彙リストがついていないので、海外で使用する場合には、翻訳付語彙リストの作成が必要になると思います)。

たとえば次のような使い方があります。上級クラスの日本語学習用教材として「重要語句」から「作文の窓」まで、各課の構成どおりに教室活動を行っていかば、4技能を総合的・統合的に学習できます。

また、読解用に使う場合には「会話の窓」「作文の窓」を省略したり、簡略化するといいでしょう。

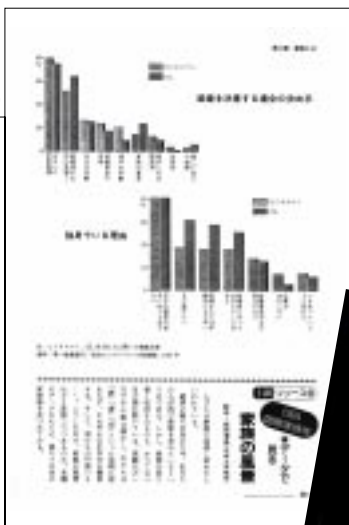
現代日本事情教材としてテーマが現代日本社会・日本人の意識や行動に関するものなので、大学・大学院の日本語科、日本研究科などで、日本事情用教材として使うことができます。

ディベートなどの資料としてディベートやプロジェクトワークを授業の中で行う場合には、素材や基礎資料として使うことができます。

教師の参考資料として読解の素材、上級クラスにおける教室活動のアイデアなどが得られます。

第3課用リソースの一部 (p.14)

第3課・本文の一部 (p.17)



『JAPANESE 漢太郎』

データ

1 マッコーリ大学、富士通オーストラリア企画制作
2 富士通ラーニングメディア
(〒144 東京都大田区新蒲田 1-17-25 /
TEL:0120-55-9031 FAX:03-3730-9624)
3 vol.1 1995年4月 vol.2, vol.3 1997年
1月 610,290円

最近、語学学習へのCD-ROMの利用が進んでいます。この教材もその試みの一つです。取り上げられているのは漢字です。普通は漢字学習というと、単調な練習を想像するかもしれませんが、しかしこの教材では、静止画や動画、音声(自然な発音、速度)、ゲーム形式のクイズを多く用いて、楽しく学べるよう考えられています。

ではどのような人が、これで勉強できるでしょうか。利用者は、少なくともかなは全て知っていることが必要です。また練習問題にはやや長い文章も出てきます。難しい漢字の熟語も出てきます。従って、全くの初級者は全部を理解することは難しいでしょう。説明は英語です。

次に、この教材の内容を紹介しましょう。教材は、3枚のCD-ROMで構成されています。学習する漢字は、初級を中心にしています。数は、1巻200字、2巻200字、3巻300字です。

各巻の内容は、次の通りです。1巻目

は、最初に画面を開くと、図1のように、基本として次の項目が出てきます。

Discoverer、Memory、Match、Reading、Stories。これらは、1巻から3巻までほぼ共通した項目となります。2巻、3巻のこれ以外の共通項目は、Grammarです。

一方、各巻で個別の項目は、次の通りです。1巻では次の項目があります。Calendar、Clock、Numbers。これらはそれぞれ、年月日、時間、数字に関する漢字を学習する項目です。

2巻では、Open Sesame、Helpという項目があります。

3巻では、Bingo、Ad. Storyという項目があります。

各項目の内容はどうなっているのでしょうか。は、この教材の基礎となる部分です。ここではある漢字について、次のような情報が与えられます。1巻では、音読み、訓読み、意味(英語)用例(英語、音声付き)漢字と絵を関連づけた図、絵から漢字への変化を示す動画、漢字の記憶のために連想を利用した説明。

2、3巻では、更に図2のように、画数、偏と旁などの文字構造の型の表示、色分けによる文字構造の表示、筆順(動画)ネルソンの漢字辞典の整理番号があります。

からは、応用の部分です。まず

は、トランプのコンセントレーション形式のゲームです。漢字と絵の2種類のカードを合わせます。

はクイズです。漢字と絵と読みの3種類のカード合わせです。

もクイズです。1漢字に3種類の読みが表示され、どれが正解か当てます。

は、長文の読解です。各課の学習漢字については、字をクリックすると読みと英語訳が表示されます。他に質問と長文の英語の要約もあります。

は練習問題です。図3のように、絵と穴があいた単文が表示され、そこに適切な語を入れます。多くは助詞です。

2巻は、英語の単語の下に窓があり、扉を開くと2つの漢字熟語が出ます。どちらが、英語と合っているか当てます。

3巻は、9枚の漢字カードとその下に並べられた漢字を組み合わせて、熟語を作るゲームです。これは難しいです。

3巻は、長文の読解です。

ゲームやクイズは、終わった後でかかった時間と正答率、誤答率が示されます。学習者はこの漢字で、自分の力がかかります。ゲームを楽しみながら自然に漢字を覚えられるよう工夫されています。皆様も挑戦してみてください。

図1



vol.1 起動時の画面

図2



vol.2 Discoverer

図3



vol.2 Grammer

pp.16 ~ 19は、以下の日本語国際センター専任講師が図書を選び、分担して紹介文を執筆しました。

前田綱紀、坪山由美子、百瀬侑子、木山登茂子、木谷直之、高偉建

“いろいろな練習が楽しくできるカード教材”

『くもんのせいかつ図鑑カード (たべものカード、くだものカード、のりものカード、マーク標識カード)』

データ

1 くもん出版 2 くもん出版 (〒102 東京都千代田区富士見1-12-21 BR 九段1 / TEL:03-3234-4004 FAX:03-3234-4483) 3 1996年7月 44-7743-0046-25 全4セット 各セット31枚 6各セット945円

『くもんのせいかつ図鑑カード』は、日本の日常生活でよく見かける物を約12×18センチのカラーの絵カードにしたものです。「たべもの」「くだもの やさい」「のりもの」「マーク標識」の四つのセットで構成されていて、各セットに31枚の絵カードがあります。一枚の絵カードの裏には、絵にかかれた物の名前が太い字のひらがなカタカナで書いてあります。名前の下には、100字ぐらいの説明と挿し絵があります。説明は漢字とかなで書かれていますが、漢字にはふ

りがながついています。たとえば、「たべものカード」では「おにぎり」「カレーライス」「ギョーザ」などが取り上げられていて、裏には食べ方や作り方の説明があります。

このカードは日本人の子どものために作られた物ですが、外国人のための日本語のクラスでもいろいろな使い方ができるでしょう。カードは持ちやすいサイズ

で、絵もはっきりしているのので、20人ぐらゐのクラスサイズなら、単語や文字や文型の勉強をするときにも使えます。「～で行きます」や「～は～よりはよいです」などの文型も「のりものカード」を見ながら練習すると、わかりやすくなるでしょう。また、4、5人のグループでカルタのようなゲームをしたり、絵を見ながら文を作る練習をするのにも使えます。



おにぎりカードの裏表



“初級文型が使えるようになるためのドリルとタスク”

『会話のにほんご ドリル&タスク』

データ

1 佐々木瑞枝、門倉正美 2 ジャパンタイムズ (〒108 東京都港区芝浦4-5-4 / TEL:03-3453-2013 FAX:03-3453-8023) 3 1997年7月 44-7890-0884-35 197ページ 62,415円

この教材は、初級後半から中級前半レベルの学習者を対象にしています。本冊「会話のにほんご」の内容に合わせて、学習者がふだんの会話の中で、日本語の初級文型をうまく使えるようになるには、どのようなドリルやタスクをしたらいいかを考えて作られたワークブックです。

取り上げられている学習項目は、「て形」「自動詞/他動詞」「受身形」「使役形」「授受動詞(あげる/くれる/もらうなど)」「様態・推量の表現(そうだ/ようだなど)」「条件文(と/たら/ば/

なら)」「敬語」「形式名詞(こと/わけ/ところなど)」などで、どれも外国人の日本語学習者にとって、意味や用法、使い分けが難しいものです。

この本の構成は、各課ごとに、「イラストによる文法確認」「応答バリエーション」「内容質問」「文法確認ドリル」「タスク」となっています。また、数課ごとに「コラム」があって、重要な文法項目や「男ことば・女ことば」「擬音語・擬態語の効果」など会話表現の大切なポイントを補足的に説明しています。上の、は、本冊「会話のにほんご」のダイアログや会話例の内容に関するドリルです。また、は、巻末に解答が付いていますので、教室活動としてだけでなく、学習者の自習用教材としても利用できます。

海外で日本語を勉強している学習者

は、毎日の生活の中で自分から進んで日本語を使うチャンスがあまりありません。ですから、教師は授業の中で実際の場面で使えそうな、意味のあることを、できるだけたくさん学習者に日本語で話させたり、聞かせたり、読ませたり、書かせたりすることが大切になります。この教材の中には、学習者が積極的に楽しく授業に参加できる学習者中心の教室活動のヒントがいっぱい詰まっています。



(p.95)

“上級日本語の指導を考えるための参考書”

『上級日本語教育の方法』

データ

1 藤原雅憲、初山洋介 2 凡人社 (〒102 東京都千代田区平河町 1-3-13 菱進平河町ビル1F / TEL:03-3263-3959 FAX:03-3470-2129) 3 1997年5月20日 4 4-89358-374-3 5 321 ページ 6 3,360 円

上級日本語で教えなければならないことは何でしょうか。効果的な教え方は何でしょうか。

この本には、留学生を対象とした日本語集中コースで実施した上級日本語教育での教育内容と方法が、一つの試みとして提示されています。上級クラスでの教室活動の参考となるだけでなく、カリキュラム開発やコースデザインの設計の際の参考としても利用できます。

内容は、第1部「総合演習とその展開」、第2部「上級日本語教育の諸問題」に分かれています。

かれています。第1部は上級日本語教育に必要な、4技能を統合した総合学習の基本的な考え方とその具体的な指導の仕方についてです。日本事情や語彙指導にもふれています。第2部ではレポート・論文の作成などの教室活動、音声教育や非言語行動について述べています。学習者の日本語の分析や指導の結果の分析もまとめてあります。

例えば、第1部第2章「読解指導の視点と技法」では、上級日本語における読解とは何かを定義し、教材の選択及び教材作成、教授活動の実際、問題点などが、現場での授業をふまえて書かれています。教授理論を述べているだけでなく、実際に集中コースで扱った学習項目、使用した教材、上級学習者のかかえる学習上の問題点などをもとに解説しているの

にしやすいでしょう。

上級日本語では、新聞、雑誌などの生教材を利用することが多いですが、海外ではこれらの生教材を入手するのに制限があるかもしれません。しかし、インターネットから得られる情報などを活用し工夫すると、この本で述べられている方法を実践する際の助けになるのではない

(目次)

| | |
|-------------------|-----|
| 目次 | 1 |
| 第1部 総合演習とその展開 | 1 |
| 第1章 総合演習の意義と目的 | 1 |
| 第2章 読解指導の視点と技法 | 11 |
| 第3章 音声教育と非言語行動 | 27 |
| 第4章 語彙指導 | 43 |
| 第5章 作文指導 | 59 |
| 第6章 面接指導 | 75 |
| 第7章 面接指導の実際 | 91 |
| 第8章 シナリオ・演習指導 | 107 |
| 第9章 パート・スピーチ指導 | 123 |
| 第2部 上級日本語教育の諸問題 | 139 |
| 第10章 レポート・論文指導の実際 | 139 |
| 第11章 プログラム・教材の開発 | 155 |
| 第12章 教材の作成と評価 | 171 |
| 第13章 上級日本語教育の展望 | 187 |
| 索引 | 203 |
| 参考文献 | 217 |
| あとがき | 231 |

“日本のすべてをイラストで紹介する事典”

『バイリンガル・ブックス イラスト日本まるごと事典』

データ

1 インターナショナル・インターンシップ・プログラム 2 講談社インターナショナル (〒112 東京都文京区音羽 1-17-14 / TEL:03-3944-6492 FAX:03-3944-6323) 3 1997年5月8日 4 44-7700-2080-5 5 241 ページ 6 1,365 円

この本は、日本の自然、文化、政治、歴史などはもちろんのこと、着物の着方、花の生け方、米の炊き方、習字、俳句、折り紙、じゃんけん遊びなど、日本事情を分かりやすいイラストと簡潔な説明で紹介しています。

この本は日本人が海外で日本について紹介するとき使えるように作られました。海外で日本語を勉強する外国人のたちも使えます。また、説明には英訳もついています。

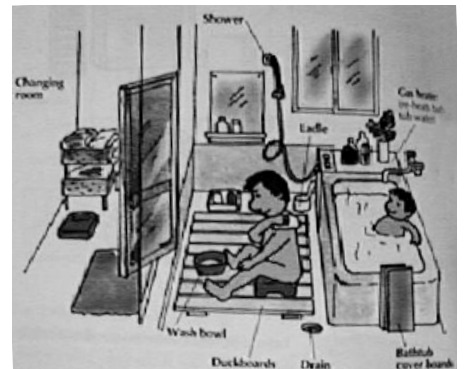
構成は、大きく四つの部分に分かれます。第1部は日本の国の概況で地形や気候や年中行事などの7トピック、第2部は日本人の生活で衣食住の12トピック、第3部は日本の文化で盆栽や俳句や折り紙などの40トピックで、第4部は今日の日本で教育や経済やマスコミなどの16トピックです。キーワードは全部で500余りもあり、巻末に索引があります。

イラストや統計資料で、現在の日本についても伝統的な日本についても様々な情報が示されていますから、日本語の勉強、日本事情の勉強に、きっと役に立つでしょう。また、漢字にふりがなはありませんが、イラストやデータは日本事情の授業にも使えます。

この本は「講談社バイリンガル・ブックス」という名前のシリーズの一冊として刊行されています。同シリーズの本と

しては、『日米比較・冠婚葬祭のマナー』『まんが日本昔ばなし』『ニッポン見聞録』『Japan クリッピング』『英語で読む日本国憲法』『英語で日本料理』『日本不思議発見』『英語で話す「日本の心」』『英語で話す「日本の謎」Q & A』『英語で読む日本史』『英語で話す「日本」Q & A』『英語で折り紙』などがあります。

(p.64)





衛星放送を利用した日本語教育

豪州(オーストラリア)・米国(アメリカ合衆国)の試み

国際交流基金日本研究部企画開発課

はじめに

国際交流基金は、その附属機関である日本語国際センター(埼玉県浦和市)が開設された平成元年度(1989年度)以来、事業立案上の参考とするため、毎年、海外の日本語教育関係者を日本にお招きして「国際懇談会」を開催してまいりました。

今年度の国際懇談会は、豪州(オーストラリア)と米国(アメリカ合衆国)で衛星放送やマルチメディアを利用した日本語教育に関わっておられる専門家の方々6名をお招きして、1997年11月7日に東京(国際交流基金国際会議場)で開催いたしました。

1. 豪州からの報告

(1) 衛星放送日本語番組「にほんごだいすき」

はじめに、豪州の方々から発表がありました。まず、サリー・シマダ先生とキャサリン・ジョナック講師から、ニューサウスウェルズ州の主導により始まった"ALS"(Access to Language via Satellite)についての報告がありました。

この"ALS"は小学生(3年生~6年生)を対象としたLOTE(Languages Other Than English)教育のための衛星放送番組で、日本語のプログラムは「にほんごだいすき」(Nihongo Daisuki)というタイトルです。1997年は30分番組が週2回放送され、豪州全体で約7万人の小学生がこの番組で日本語を学びました。

(2) 「にほんごだいすき」の利点

この番組の最大の利点は、これまで日本語学習の機会に恵まれなかった遠隔地の子供たちも、日本語や日本文化を学ぶことができるようになったことにありますが、それ以外にも教師の日本語運用力の足りない部分を補うことができる、あるいは生徒だけでなく教師も一緒に日本語を学習することができるなどの利点があります。

また、「にほんごだいすき」は生放送されていることから、送り手(スタジオ)と受け手(クラスルーム)の

海外参加者

【豪州】

- サリー・シマダ Sally Shimada
(ニューサウスウェルズ州学校教育省日本語コンサルタント)
- リチャード・ハリソン Richard Harrison
(メルボルン大学アジア研究学専任講師)
- キャサリン・ジョナック Catherine Jonak
(国際交流基金シドニー日本語センター専任講師)

【米国】

- ティモシー・クック Timothy Cook
(ジョージア公共放送局「いらっしやい」日本語講座講師)
- 當作靖彦
(カリフォルニア大学サンディエゴ校準教授)
- 古山弘子
(国際交流基金ロス・アンジェルス日本語センター専任講師)

国内委員

- 坂元 昂 (メディア教育開発センター所長)
- 西尾珠子 (社団法人国際日本語普及協会理事長)
- 水谷 修 (国立国語研究所長)

リアルタイムによるインターアクションが可能です。ジョナック講師の報告によれば、この番組を実際利用している小学校教師の多くも、そのことをこの番組の大きな長所として挙げています。

(3) コンピュータを利用した日本語教育の可能性

ハリソン先生からは、コンピュータを利用した日本語教育の可能性が報告されました。同講師は、同じネットワーク上にいる他の学習者と時間や空間を超えてコミュニティを構成できることがコンピュータを使用した場合の利点であると指摘し、様々な地域に住む学習者や教師を結び道具としてのコンピュータの役割とその可能性を示唆しました。

2. 米国からの報告

(1) テレビ日本語講座「いらっしやい」

つづいて、米国の方々から発表がありました。ティモ

シー・クック先生は、1988年からネブラスカ教育テレビ局で始まった SERC (Satellite Educational Resources Consortium)

の日本語教育番組の講師を務めた後、1995年からはジョージア公共放送局のテレビ日本語講座「いらっしやい」の講師を務めています。その立場から、衛星放送を利用し

て日本語教育を実施する上での課題、とくに学習者とのインターアクションをどのように確保するかという課題について、経験を交えて報告するとともに、スタジオにいる教師とクラスルームにいる生徒の間に地理的な隔たりを越えた一種のコミュニティー意識を作り出すことの重要性について指摘しました。

(2) 中等教育レベルの遠隔日本語教育の概要

古山弘子講師からは、中等教育レベルの遠隔日本語教育の概要に関する報告がありました。それによると、米国では新たな遠隔教育プログラムが誕生する一方で、今まであったプログラムが中止になったり、あるいは使用メディアを変更するなどの試行錯誤が続いているそうです。また、各プログラムは技術的な面での向上を図るとともに、内容面においても様々な改善に取り組んでいます。ただし、とくに大規模なプログラムにおいては、日本語教師がいる通常のクラスとの接点がありません。古山講師は両者の連携の重要性を示唆しました。また、人間と人間のコミュニケーションの手段である言語の教育においては、(とりわけ学習者が人)格形成の途上にある中等教育レベルの場合は)メディアが教師の役割を完全に代行することは不可能であるとの見解から、人間にしかできないこととテクノロジーの方が効果が高いことを見極めることの重要性について指摘しました。

(3) インターネットを利用した日本語教師研修

當作靖彦先生は、インターネットを利用した日本語教師研修プロジェクト "Institute for the Teaching of Japanese" (ITJ) に関わっています。このプロジェクトは、米国の非営利団体であるローラシアン協会が1996年から開始した事業で、小学校～高校の現職教師が対象です。参加者は登録時にコースの開始日を知らされ、参加者全員がほぼ同じペースでコースを進んで行く仕組みになっています。これは、参加者どうし、あるいは参加者とモデレーター間のインターアクション(電子メールやチャット



左からシマダ、ジョナック、ハリソン、クック、古山、當作の各先生(トを利用)を重視しているからです。

ただし、教師とのインターアクションがコースデザイン上、重要な要素となる言語教育の場合は、画像や音声をインターネット上で送信したとしても、高度のインターアクティビティーが確保できるのか、當作先生は疑問だとしています。このため、衛星放送やインターネットの技術がいくら発達しても、そのプログラムが成功するため一番大切な要素は結局のところ人間であると、當作先生はお考えです。

パネル・ディスカッションの開催

翌日の11月8日には、坂元昂先生、西尾珪子先生、水谷修先生の3名と海外からお越しいただいた上記の6名によるパネル・ディスカッションを開催しました。水谷先生の司会により進められたこのパネル・ディスカッションには日本語教育の専門家を中心に70名ほどの人が参加して、活発な議論が展開されました。

とくに、遠隔教育におけるインターアクションの重要性、人間と技術の役割分担を明確にすることの必要性について、多くの人から発言がありました。

おわりに

国際交流基金は、海外の日本語教育を効果的に支援していくためには、各国の日本語教育事情をきちんと把握することが大切だと考えています。その方法のひとつとして、今後もこの「国際懇談会」を開催していく予定です。明年開催の国際懇談会につきましても、その概要は、この『日本語教育通信』でお知らせしたいと思います。

最後になりましたが、今回の国際懇談会でパネリストをお務めいただいた水谷先生、坂元先生、西尾先生、そして豪州と米国からお越しいただいた6名の先生方に対して、厚くお礼申し上げます。

『日本語教育通信』を
にほんごきょういくつうしん
 クリックしてください

『日本語教育通信』が
にほんごきょういくつうしん
 ホームページで
 見られます

国際交流基金ホームページアドレス
こくさいこうりゅうききん

<http://www.jpff.go.jp>

国際交流基金では1996年12月にホームページを開設し、最新情報や公募事業案内とともに出版物についても紹介しています。このホームページには『日本語教育通信』の紹介ページもあります。創刊号から27号については目次のみを紹介し、28号以降は本の形式のまま全ページが載っています。

かねてより編集部には個人の方々から『日本語教育通信』がほしい」という希望が寄せられていますが、印刷部数の関係で内外の日本語教育機関を中心に無料で配布しているため、そのご要望にはお応えできませんでした。ホームページへの掲載はそのようなご要望に応えると同時に、より多くの方に『日本語教育通信』を読んでもいただく機会を提供するものです。お知り合いに『日本語教育通信』を読みたい」という方がいたら、ホームページのことを是非教えてあげてください。



STEP 1.

アドレスの <http://www.jpff.go.jp> を入力し、国際交流基金のコンテンツのページにアクセスします。日本語版と英語版の2パターンがあるので、好きな方を選んでください。日本語の場合「出版物」を、英語の場合「Publications」をクリックします。



STEP 2.

国際交流基金が発行しているすべての出版物の表紙が出てきます。「日本語教育通信」または「Nihongo Kyoiku Tsushin」が出てくるまで下にスクロールし、クリックします。



b このページに直接アクセスするには
http://www.jpjf.go.jp/e/4_08menu.html

STEP 3.

Get Acrobat Reader のボタンをクリックしてダウンロードしてください。



c このページに直接アクセスするには
<http://www.jpjf.go.jp/j/4-08menu.html>

STEP 4.

第28号・第29号をクリックすると、本文が本そのままの状態で見られます。第1号～第25号(目次)・第26号(目次)・第27号(目次)をクリックすると、各号の目次が見られます。





ニュース

1997年度日本語能力試験

昨年12月7日(日)に、1997年度日本語能力試験 国際交流基金、財団法人日本国際教育協会の共催が実施されました。

この試験は、日本国内外において日本語を母語としない人を対象に、習得した日本語の能力を客観的に測定し、その能力を認定することを目的として1984年から実施されており、今回で14回目を迎えました。

今回は国外30の国・地域、71都市、日本国内6地域で実施され、総計122,958人(昨年度比約7%増)の受験応募がありました。

各級の応募者数については、別表のとおりです。

| | 級別 | 1997年度 応募者(人) | 1996年度 応募者(人) | 伸び率 (前年度比) |
|----|----|------------------|------------------|---------------|
| 国外 | 1級 | 20,618 | 20,460 | 0.8 |
| | 2級 | 24,886 | 22,511 | 10.6 |
| | 3級 | 25,619 | 23,203 | 10.4 |
| | 4級 | 21,740 | 19,375 | 12.2 |
| | 小計 | 92,863 | 85,549 | 8.5 |
| 国内 | 1級 | 17,839 | 18,007 | -0.9 |
| | 2級 | 6,209 | 5,477 | 13.4 |
| | 3級 | 3,833 | 3,617 | 6.0 |
| | 4級 | 2,214 | 1,830 | 21.0 |
| | 小計 | 30,095 | 28,931 | 4.0 |
| 合計 | | 122,958 | 114,480 | 7.4 |

編集部から

前号でもお知らせしましたが、1997年10月から『日本語教育通信』第28号と第29号の全文を国際交流基金のホームページに載せています。

ホームページ上で見られる『通信』には、ルビが付いていること、写真がカラーであること、読みやすいように文字の大きさを自由に変えることができること、などの特徴があります。

なお、今のところ、開くまでに時間がかかる、印刷が出来ない、などの問

ここに掲載するニュースは、国際交流基金日本語国際センターが入手した日本語教育に関する情報の一部です。各ニュースについて、問い合わせ先がわかっている場合には明記してありますので、詳細はそちらへお尋ねください。

*この欄にふさわしい情報やニュースがありましたら、下記までお寄せください。

国際交流基金日本語国際センター 情報交流課 〒336-0002 埼玉県浦和市北浦和 5-6-36
Research and Information Division, The Japan Foundation Japanese-Language
Institute, Urawa, 6-36 Kita-Urawa 5-chome, Urawa-shi, Saitama 336-0002, Japan

なお、1998年度の日本語能力試験は12月6日(日)に実施される予定です。試験実施の詳細については、7月以降に次の宛先にお問い合わせ下さい。

sお問い合わせ先

国外:

国際交流基金関西国際センター試験課
〒598-0093大阪府泉南郡田尻町
りんくうポート北3番地の14
TEL: 0724-90-2603
E-Mail:LDL02720@niftyserve.or.jp

国内:

財団法人日本国際教育協会
事業部日本語・統一試験課
〒153-0041東京都目黒区駒場4-5-29
TEL: 03-5454-5215

日本語教育機関調査の 実施協力のお願い

国際交流基金日本語国際センターは、日本国外の日本語教育機関を対象にしたアンケート調査を今年(1998年)5年ぶりに実施します。この調査は世界の日本語教育の現状を把握するために実施しているもので、集めた情報は報告書にまとめて出版いたします。この『通信』をお送りしている日本国外の日本語教育機関の代

題が生じる場合がありますが、原因を調べて直していく予定です。

本号のP22、23を参考にして、『通信』の読者の皆さんもぜひ一度国際交流基金のホームページを開いて、『通信』を読んでみてください。

(情報交流課 平林豊文)

*編集部では、『日本語教育通信』に対するご意見や皆さんの学校の状況などを書いたお手紙をお待ちしています。

表者のお手元にも、国際交流基金事務所など各国における調査実施機関からアンケート用紙が送付される予定です。その際にはご協力をお願いいたします。

なお、この調査は『通信』のメイリングリストの更新を兼ねており、回答をいただけなかった機関には、この『通信』をお送りできなくなる恐れがありますのでご注意ください。

この調査についてのお問い合わせは各国の国際交流基金事務所、日本大使館・総領事館、または日本語国際センター(FAX:+81-48-830-1588)までお願いします。

日本語国際センター副所長の 交替について

1995年の4月以来、3年近くにわたって日本語国際センター副所長を務めてまいりました安田文夫が退任し、1997年12月より国際交流基金北京事務所長に就任いたしました。この間の関係者の方のご協力に対して、この場を借りて御礼申し上げます。

なお、11月20日からは大塚善人が副所長に就任いたしました。引き続いてのご支援をよろしくお願いたします。

『日本語教育通信』 第30号

1998年2月発行

発行・編集

国際交流基金 日本語国際センター
情報交流課

〒336-0002 埼玉県浦和市北浦和 5-6-36
TEL 048-834-1184 FAX 048-831-7846

編集協力

財団法人 国際文化交流推進協会

The Japan Foundation

Japanese-Language Institute, Urawa

(6-36 Kita-Urawa 5-chome,
Urawa-shi, Saitama 336-0002, Japan)

©1998 by The Japan Foundation

(表紙イラスト: 村井宗二)